

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】令和 2 年 11 月 12 日 (2020.11.12)

【公開番号】特開 2019-66979 (P2019-66979A)
 【公開日】平成 31 年 4 月 25 日 (2019.4.25)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-016
 【出願番号】特願 2017-189452 (P2017-189452)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 16/00 (2019.01)

【F I】

G 0 6 F 17/30 3 4 0 Z

G 0 6 F 17/30 2 2 0 Z

G 0 6 F 17/30 3 8 0 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 9 月 29 日 (2020.9.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

記憶部に記憶されたデータを検索対象として検索可能な検索装置であって、
検索条件に基づいて検索されたデータから共起関係がある複数の単語を共起語グループとして抽出する抽出手段と、
前記抽出された共起語グループから、検索に用いる共起語グループの選択を受け付ける選択受付手段と、
を備えることを特徴とする検索装置。

【請求項 2】

前記抽出された共起語グループを表示するよう制御する表示制御手段
を備えることを特徴とする請求項 1 に記載の検索装置。

【請求項 3】

前記表示制御手段は、前記検索されたデータを表示する際に、前記共起語グループに含まれる単語と、前記共起語グループに含まれない単語とを識別可能に表示するよう制御すること
を特徴とする請求項 2 に記載の検索装置

【請求項 4】

前記表示制御手段は、前記選択受付手段で選択を受け付けた共起語グループの単語を表示するよう制御すること
を特徴とする請求項 2 または 3 に記載の検索装置。

【請求項 5】

前記共起語グループに含まれる単語と前記検索条件とに基づいて前記記憶部に記憶されたデータを検索する第 1 検索方法と、前記共起語グループに含まれる前記単語に基づいて検索する第 2 検索方法とを少なくとも含む、検索方法の指定を受け付ける検索方法受付手段を更に備えることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の検索装置。

【請求項 6】

記憶部に記憶されたデータを検索対象として検索可能な検索装置の制御方法であって、
抽出手段が、検索条件に基づいて検索されたデータから共起関係がある複数の単語を共

起語グループとして抽出する抽出ステップと、

選択受付手段が、前記抽出された共起語グループから、検索に用いる共起語グループの選択を受け付ける選択受付ステップと、
を備えることを特徴とする検索装置の制御方法。

【請求項 7】

記憶部に記憶されたデータを検索対象として検索可能な検索装置で実行可能なプログラムであって、

前記検索装置を、
検索条件に基づいて検索されたデータから共起関係がある複数の単語を共起語グループとして抽出する抽出手段と、

前記抽出された共起語グループから、検索に用いる共起語グループの選択を受け付ける選択受付手段

として機能させることを特徴とするプログラム。

【請求項 8】

記憶部に記憶されたデータを検索対象として検索可能な検索装置を含む検索システムであって、

検索条件に基づいて検索されたデータから共起関係がある複数の単語を共起語グループとして抽出する抽出手段と、

を備えることを特徴とする検索システム。

【請求項 9】

記憶部に記憶されたデータを検索対象として検索可能な検索装置を含む検索システムの制御方法であって、

抽出手段が、検索条件に基づいて検索されたデータから共起関係がある複数の単語を共起語グループとして抽出する抽出ステップと、

選択受付手段が、前記抽出された共起語グループから、検索に用いる共起語グループの選択を受け付ける選択受付ステップと、

を備えることを特徴とする検索システムの制御方法。

【請求項 10】

記憶部に記憶されたデータを検索対象として検索可能な検索装置を含む検索システムで実行可能なプログラムであって、

前記検索システムを、
検索条件に基づいて検索されたデータから共起関係がある複数の単語を共起語グループとして抽出する抽出手段と、

前記抽出された共起語グループから、検索に用いる共起語グループの選択を受け付ける選択受付手段

として機能させることを特徴とするプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明の目的は、検索対象のデータから適切なデータを効率的に取得可能とするシステムを提供することである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

上記の目的を達成するために、記憶部に記憶されたデータを検索対象として検索可能な検索装置であって、検索条件に基づいて検索されたデータから共起関係がある複数の単語を共起語グループとして抽出する抽出手段と、前記抽出された共起語グループから、検索に用いる共起語グループの選択を受け付ける選択受付手段と、を備えることを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明によれば、検索対象のデータから適切なデータを効率的に取得することができる。